

2022

1

January
No. 347

広報みしま

福島県
大沼郡
三島町



三島町は、福島県の西部を流れる只見川沿いの小さな町です。優良な「会津桐」の産地として知られるほか、小正月の行事「サイノカミ」や、野山の材料で作る「編み組細工」などの伝統が受け継がれ、「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

Mishima Town Public Relations



三島保育所餅つき大会

12月15日、保育所の餅つき大会が行われました。子ども達は、自分より大きなきねを持ち上げ、力強く一生懸命に餅をつきました。出来上がった餅は、きな粉餅やあんこ餅にして、口いっぱいほおばりながらみんなでおいしく食べました。

主な内容

新年のごあいさつ（町長・議長）	2～3
新春祝賀会・自治功労者表彰	4
生涯学習表彰	5
まちの話題	6～7
町民記者	8～9
受賞者紹介など	10
空き家コラム	11
など	



人口減少を緩やかにし、地域にある人・物・資源の活用で持続的な町へ。

あおき きしろう
三島町議会議員 青木喜章



新年あけましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては穏やかな新年を迎えられた事とお慶び申し上げます。年頭にあたり議会を代表し新年のご挨拶を申し上げます。

一昨年に続き昨年も新型コロナウイルスの影響を全国で受け、当町においても多くの事業所が厳しい経営を余儀なくされています。そんな中ワクチンの接種につきましても、県立宮下病院、奥会津在宅医療センターの皆様のご協力を頂き、いち早く二回の接種を受けることが出来ましたが、まだまだ感染防止対策は継続しなければなりません。

さて、そんな中でも町では9月議会定例会からみしまテレビで議会の模様を放送し始めました。議会傍聴に来られない方のために、議会ではどんな事が話し合われ、どんな事が決められ、町民の皆様はどう関係してくるのか分かって頂けると思われまします。始まったばかりですので改善点、要望等がありましたら議会までお寄せください。

鳥獣による被害も年々拡大しています。特にイノシシ被害について

対流と交流による文化の融合が、住みたい、住み続けたいふるさと（桐源郷）を創る

～コロナ後の漂流する時代の羅針盤は50年前の三島にある～

やざわ げんせい
三島町長 矢澤源成



謹んで新年のごあいさつを申し上げます。昨年と同様新型コロナウイルス感染症の事から書き始めるのは誠に残念であります。令和4年も、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るっている中で、寅年を迎え、コロナ禍の現象は収束することなく、我々人類が歴史の転換期に生きていっているのではないかと感じております。

また、年末にはオミクロン株という変異種も確認され、より強い感染力があるといわれ、日本は空港での水際対策に懸命に取り組んでいるところでもあります。しかし、市中感染の報道もなされ今後の感染拡大が懸念されているところでもあります。町も県と連携し、情報を収集しながら、対策本部を適時に開催し、町民の皆さまの健康を守る事を最優先に、感染予防対策や第3回目のワクチン接種を県立宮下病院や奥会津在宅医療センターとの連携を密にして、スピード感をもって取り組んでまいります。

昨年は、三島町の歴史に残る、東京オリンピック聖火リレーの開催や宮下病院建替え、JR只見線鉄道施設群の選奨土木遺産認定、

では町内のほとんどの地区で確認され対策に苦慮しています。熊・サル・カモシカの被害も増え、駆除が追い付かないのが現状です。町当局の対策と冬期間における駆除に期待するところです。

また、町では町民の皆様健康についても力を入れていきます。健康長寿を目標に様々な取り組みを行っています。まずは町民皆様の意識が必要です。健康を心がけて頂きたいと思っております。

さて、令和4年度の大きな動きとして、JR只見線の全線再開が挙げられます。念願であった全線再開ですが、上下分離方式ということで今後の利活用と経営を考えたとき、多くの知恵の集約が必要と考えます。国定公園への編入など誘客の資源はあると思いますが、一町村だけの問題としてではなく、沿線全体の問題として考えていかなければならないと思っております。

次にガソリンスタンドの移転設置の問題です。何回か検討委員会が開かれ、町民の皆様へのアンケートが実施・集約され、話し合いが進んでいます。町民の皆様にも経過を知らせて頂き利用しやす

只見川流域の「越後三山只見国定公園」への編入、大谷バイパスの工事着工と三島町は勿論ですが奥会津町村にとっても新しい扉を開く出来事がありました。本年はJR只見線の会津川口駅と只見駅間の接続復興と関連し、奥会津の振興に努めて行く年になるであろうと考えます。

コロナ後の世界や日本はどのような時代に突入していくのであろうかと考えながら、三島町の羅針盤の理念とベクトルを考えて行く必要があると思っております。

歴史の転換期を感じる現象が、次から次と起こってきています。原発事故、頻繁に起こる地震、火山の噴火、気候変動によるであろう局地的豪雨や大型台風の高頻発化等々、人類に対する大きな警告と言ってもいい新型コロナウイルス感染症の席巻の背景が何であるのかを考える必要があるのではないかと感じます。

あたりまえの日常が脅かされ、政治経済の全体を含めた方向性を見失っているのではないかと考えています。成長という「価値」を引きずりながら、時代の中で羅針盤が壊れているような気がするので

いスタンドが早く出来ることを希望します。

さらに町の一大イベントである「ふるさと会津工人まつり」についてです。2年間中止となり、今年には実施できるかと思いましたが、2年間休んだことにより実施準備は大変かと思われ、町をあげてお客様を迎えるために協力していきたいと思っております。生活工芸アカデミー生の受け入れにつきましても継続されるようお願い致します。

今年の最大の課題としてしましては、人口減少対策への取組みであると考えます。関係人口・交流人口を増やすことは重要なことですが、さらにそこから定住人口に結び付けることで、人口減少を少しでも緩やかにすることができ、地域にある人・物・資源の活用が持続的につながると考えます。これからも町当局と話し合いながら、町民の皆様安全・安心のために活動してまいります。

結びに町民の皆様のご繁栄とご多幸をご祈念申し上げ年頭のご挨拶と致します。

あります。

未来を見通すことができない現在の「今」を考えるヒントは、50年前の三島町が全国に提案した「町づくり」の理念である地域分散型社会の構築にあるのではないかと確信しています。「ふるさと運動」は、山村と都市との交流による自分の足下を考える、また「生活工芸運動」は、地域の資源の活用による地域循環経済の確立、「健康づくり運動」と「有機農業運動」を連携した、安全安心な食文化と健康づくり。そして「地区プライド運動」の地域コミュニティや文化の価値の発見。まさにこれらの運動はコロナ後の未来に提示する時代を先取りした運動であると確信しています。

群馬県上野村は人口規模は当町と同じ程度ですが村民の半分は他地域からきた人であるそうです。人材がいらないと嘆くのではなく、交流しながら、対流しながらその地域に住んでいただく町でありたいと願っています。厳しい時代に生きていますが、皆さんの力を結集し新しい時代の扉を切り開いていきます。

生涯学習表彰

生涯学習表彰 文化部門の表彰式は1月4日、町民センターで行われ、各種コンクールで優秀な成績を収めた10名が矢澤町長より表彰されました。



下段左から

氏名	成績等
浅見 凰花さん (三島小5年)	令和3年度第53回福島県児童作文コンクール「準特選」
鈴木 康生さん (三島小6年)	令和3年度第67回読書感想文福島県コンクール「入選」
飯塚 楽人さん (三島中2年) ※受賞時1年	令和2年度福島県中学生徒造形作品秀作審査会(絵や彫刻・立体)「特選」 令和2年度第65回福島県書きぞめ展「奨励賞」
真田 智和さん (三島中3年) ※受賞時2年	令和2年度福島県中学生徒造形作品秀作審査会(絵や彫刻・平面)「特選」
酒井 大駕さん (三島中3年) ※受賞時2年 ※式欠席	令和2年度福島県中学生徒造形作品秀作審査会(絵や彫刻・立体)「特選」

上段左から

氏名	成績等
二瓶 里桜さん (三島中3年)	令和3年度第40回全国中学生人権作文コンテスト福島県大会「奨励賞」
五十嵐 望さん (桐桜高校1年) ※受賞時三島中3年	令和2年度福島県中学生徒造形作品秀作審査会(絵や彫刻・平面)「特選」
星 明音里さん (葵高校1年) ※受賞時三島中3年	令和2年度福島県中学生徒造形作品秀作審査会(デザインや工芸・平面)「特選」
飯塚 真林さん (会津学鳳高校1年) ※受賞時三島中3年	令和2年度福島県中学生徒造形作品秀作審査会(絵や彫刻・立体)「特選」
秦 慎之助さん (三島中3年) ※受賞時2年 ※式欠席	令和2年度福島県中学生徒造形作品秀作審査会(絵や彫刻・立体)「特選」

新春祝賀会 自治功労者表彰

新春祝賀会並びに自治功労者表彰式は1月4日、町民センターで行われました。2年振りに開催された新春祝賀会では、会食はせずにお越しになった皆さんと顔合わせをし、新年の挨拶を交わしていました。

また、自治功労者表彰では、功労のあった次の方々に、矢澤町長から表彰状と記念品が贈られました。



▲ 令和4年三島町新春祝賀会の様子

- ◆ 特別功労者表彰
 - 【副町長】 秦 育雄 様(大石田)
- ◆ 功労者表彰
 - 【教育長】 佐藤 孝信 様(会津坂下町)
 - 【消防団員】 小松 信 様(西方)
二瓶 勤 様(西方)
目黒 賢 様(滝谷)
 - 【多額の寄付】 (株)海老名建設
代表取締役 小柴 芳郎 様(西会津町)
 - 【感染予防用品の寄付】 福島ミドリ安全(株)
代表取締役社長 白石 昇央 様(郡山市)
 - ◆ 善行者表彰
 - 【多額の寄付】 八ッ橋設備(株)
代表取締役 八ッ橋 善朗 様(会津若松市)
 - ◆ 顕彰者表彰
 - 【県高校体育大会レスリング51kg級優勝】 坂内 悠吏 様(西方)



▲ 矢澤町長と受章者の皆様

- ◆ 感謝状表彰
 - 【多額の寄付】 滝谷建設工業(株)
代表取締役 田中 智仁 様(宮下)
 - 佐久間建設工業(株)
代表取締役社長 佐藤 岩男 様(早戸)
 - (株)TKC
代表取締役社長 飯塚 真規 様(栃木県宇都宮市)



三島保育所 「クリスマス発表会」

三島保育所クリスマス発表会は12月4日に行われました。子ども達はかわいらしい姿で劇やダンスを披露し、会場に訪れた保護者の皆さんに笑顔届け、一生懸命頑張る子ども達には保護者の皆さんから温かい拍手が送られました。



①ぴよんぴよん ぷによぶによのうた (りす組)



②劇「オオカミと5ひきの子ヤギ」(ぱんだ組)



③小さなヒーロー (うさぎ組男の子)



④えがおのまほう (うさぎ組女の子)



⑤白虎隊 (きりん組)

口内の状態から学ぶこと

いつまでも健口教室

11月18日～30日にかけて、認定歯科衛生士である鳴原ヨシ子さんと歯科衛生士2名の方の指導のもと、町内各地区において「いつまでも健口教室」が開催されました。

歯磨きはもちろんのこと、舌の掃除の仕方や入れ歯のお手入れの仕方、介護における食事方法など実践を交えて教えていただきました。



▲ 鳴原さんと舌の掃除方法について楽しく学ぶ 榎原地区の皆さん

内堀知事が健康講座を視察

健康寿命+10 健康ミニフォーラム

12月6日、内堀知事が西方地区のふるさとセンターで開催された「健康寿命+10 健康ミニフォーラム」を視察されました。内堀知事は「行政の仕事で一番大事なことは命と健康を守ることであり、皆さんが元気で健やかに過ごせるように取り組みたい。町の良い所を他の自治体に伝えたい。」と挨拶され、住民の方と一緒に運動を楽しまれました。



▲ 西方地区の皆さんと一緒に運動する内堀知事

地元の味と素材をお届け 特別町民の方に「ふるさとの香り」発送

三島町では、「特別町民」となっていたらいている町外の方々と、美しい自然を保存し、豊かなふるさとづくりを共に推進していくため、昭和49年から「ふるさと運動」に取り組んでいます。

毎年年末には、感謝を込めて、三島町の特産品詰合せ【ふるさとの香り】を特別町民の方と町づくりにご支援いただいた皆さまにお送りしています。

その中には、地元のおばあちゃん達が心を込めてついた「お餅」が同封されており、大変喜ばれています。

今年も12月20日～22日の3日間、西方地区のおばあちゃん達にご協力いただき、総勢14名で餅つきを行いました。22日には発送されており、お正月にはつきたてのお餅をご賞味いただけたかと思えます。三島町を少しでも身近に感じていただければ幸いです。



▲ 令和3年度のふるさとの香り



▲ 餅づくりにご協力いただいた皆さん



③ 熱々のつきたての餅を一袋ずつ詰めていきます。



② 2日目は、つけておいたもち米をふかす作業から始まり、餅つき機械を利用し、餅をつきます。



① 1日目は、150kgのもち米を水洗いし、水にひと晩つけておく。



④ カビが発生しないように入ってしまった空気を丁寧に抜き、ひと晩かけて熱を冷まします。



⑤ 3日目は、餅と一緒に三島町の特産品を段ボールへ詰めます。



⑥ 一つひとつ丁寧に梱包し、皆さまへ発送します。



「桧原はつらつクラブ」行事が開催される（12月10日）

佐々木 邦雄（桧原）

午前10時より、桧原地区はつらつクラブ（海老名弘会長）の行事が実施されました。例年通り年間予定表を作成したものの、コロナ禍の影響により多くの行事が中止となっておりましたが、今年最後の集いに9名の会員に参加して頂きました。第一部は「元気体操・頭の体操」をおよそ30分間、運動不足になりがちな冬期間でも無理なく出来る元気体操を実施し、ゆっくり体をほぐしながら温めました。第二部は「てわっさものづくり」として「正月・クリスマス飾り」の制作作業を社会福祉協議会の海老名智深さんを講師としてお迎えし、丁寧なご指導のもと参加された皆さんは真剣に飾り付けに取り組み、各自の発想通りに素晴らしい作品を仕上げました。その中の一例として、阿部菊子さんの作品を撮影させて頂きました。第三部は昼食を兼ねた懇親会を実施し、楽しいふれあいサロンでの有意義なひとときを過ごされ解散となりました。



川井地区ふれあいそば会の開催（12月12日）

角田 伊一（川井）

川井地区で「ふれあい新ソバ会」が行われました。地区では景観保全事業として、毎年沿道添いに草花を植え、休耕地にソバや菜の花を蒔き、住民にやすらぎの場を提供して喜ばれております。今年も白いソバの花にいやされ、通行する人々も足を止め写真撮影する姿も多く見られました。

地区では収穫したソバ粉を用いて毎年新ソバ会を開催しております。今年も川井地区・川井長寿会と歳末助け合い募金の助成金を用い、川井婦人会・保健推進員・民生児童委員・川井地区・川井長寿会の皆さんが実行委員となり、地区の皆さんを無料招待して盛大に開催しました。参加出来ない家庭には天ぷら付きのソバ弁当を配布して喜ばれました。



2年ぶりのクリスマス会（12月20日）

橋本 光五郎（早戸）

昨年は新型コロナウイルス感染症への感染予防の観点から中止した早戸地区クリスマス会ですが、今年度は個別のお弁当にしたり、席を離すなど感染予防を取りながら12月20日に開催することができました。前日までの大雪で足元が心配でしたが、当日は雪も止み、少し早いホワイトクリスマスを楽しむことができた事は幸いです。

また、秋の叙勲で佐久間源一郎氏が「旭日双光章」を受章されたことに地区として何のお祝いもしていなかったため、そのお祝いも兼ねてのクリスマス会となりました。

お昼の1時間ほどの短い時間での開催でしたが、それでも久しぶりの地区の親睦会を楽しみにして下さった方が多く、恒例となったクリスマスプレゼントの抽選で一喜一憂するなど楽しい時間を過ごすことができました。



保育所で紙芝居と木工クラフトづくりが行われる（11月8日）

菅家 壽一（間方）

保育所で森林環境学習として、紙芝居と木工クラフトづくりが行われました。NPO法人もりの案内人の会津支部に依頼し実施されたものです。

初めに、間伐の必要性を分かりやすく表した紙芝居が披露されました。子供たちは、熱心に聞き入るとともに、「どうして森が暗くなるの？」等、積極的に質問していました。何でだろう？と疑問を持つことは、とても大切なことです。

次に、間伐材の木片を利用して、年少さんは豚、年中さんは鳥、年長さんはトトロを作成しました。材料を張り付けるだけでしたが、細かい材料もあり、子供たちは、木の温もりを感じながらも集中して制作し、それぞれ個性のある表情のものにできあがりしました。



新年に向けてのふるさとセンター清掃（12月4日）

本名 与四郎（西方）

朝9時よりふるさとセンターの清掃活動を地区委員と婦人会の皆さんで行われました。

今回は、新年に向けての清掃活動で、高窓のガラス磨き、談話室の窓拭き、台所の床磨き、玄関ガラス戸拭き、一足ずつ、丁寧にスリッパ拭きと普段、気がついていけない清掃箇所をしっかりと心をこめて、取り組むことができました。2時間程度の清掃作業となりましたが、青木区長を中心に地区委員の方々と婦人会の皆様が協力し合いながら、けが・事故なく作業を終了することができました。

その後、きれいになった談話室にて和やかな雰囲気の中で茶話会が行われ、新年を待つばかりとなりました。



西方健康ミニフォーラムを開催（12月6日）

本名 与四郎（西方）

午後1時30分よりふるさとセンターにおいて「目指せ！健康寿命+10（プラス・テン）健康ミニフォーラム」が開催されました。今回は、町役場と西方地区健康を守る会の共催事業として、日常生活に密着した実践的な講話となりました。

はじめに、町民課の職員による「心臓疾患の予防と対応」についての健康講話がありました。心臓疾患の症状や冬場に起こりやすいヒートショックについての具体的な事例を交えての説明がありました。次に、地域包括支援センター職員による「下半身を鍛えて心臓の負担を減らそう！」というタイトルで、参加された地区民がストレッチと運動を実際に体験しました。最後に、奥会津在宅医療センターの職員の方が活動内容の説明や地区民の普段思われている疑問に分かりやすく応えていただきました。

また、健康フォーラムの途中、内堀雅雄福島県知事の突然の訪問があり、会場の皆さんは驚きを隠せませんでした。内堀知事より、福島県内において、心筋梗塞などの心臓疾患が全国ワースト3に数えられるため、三島町の先進的な予防医療を県内各地に推進してほしいことなどのスピーチがありました。

今回の健康フォーラムの講話や実践的な運動により、いつまでも元気に暮らすために、健康の大切さについて改めて考える良い機会となりました。



空き家コラム

空き家の適切な管理は所有者の責務です！！

毎年、空き家の屋根から落ちる雪で困っているという話が住民の方からあります。また、屋根の積雪により空き家や小屋がつぶれたり、屋根等の損傷が進む物件が見受けられます。

所有者自身で雪始末ができない場合、親せきや近隣の方をお願いする等の対応をしていただく必要があります。また、町には、除雪対策支援部隊があり、空き家所有者の方もお使いいただくことができますので、活用をご検討ください。

◆除雪対策支援部隊

【作業料金】 一人当たり1時間**4,000円**

- 準備移動等に要する時間が加算されます。(30分～1時間程度)
- 重機等を使用した場合には下記料金が加算されます。(1時間、1台あたり、人件費は含みません)

重機種類	金額	重機種類	金額
ダンプ (4t)	4,300 円	ダンプ (2t)	3,600 円
ミニホイールローダー	5,900 円	バックホウ (0.1～0.25 m ³)	6,400 円
重機運搬費 (町内)	16,500 円	手押し除雪機	3,700 円

【お申込み】 利用申し込みは、直接登録事業者にご連絡ください。

【受付時間】 月曜日～金曜日 午前 8 時～ 午後 5 時

登録事業者名	電話番号	住所
滝谷建設工業(株)	0241-52-3131	三島町宮下字宮下 177 番地
佐久間建設工業(株)	0241-52-3113	三島町早戸字湯ノ平687番地
羽賀建設工業(株)	0241-52-2214	三島町滝谷字居平510番地

除雪支援部隊事業に関する問い合わせ先 三島町役場総務課 総務係 0241-48-5511

ご家族が集まるこの時期に、
所有する空き家や住まいの今後について
話し合ってみましょう。

自己利用の見込みがない空き家の利活用・処分は、『売る』、『貸す』、『解体』の3パターンです。

建物は人が住まなくなると急速に傷みが進み、放置し続けた場合、その後の利活用が難しくなりますので、自己利用の見込みがない場合は、早めに今後についてご検討ください。

町では、「所有者よし、入居者よし、地域よしの三方よしで三島よし」を目指し、様々な空き家・空き地対策に取り組み、利活用を支援しています。まずは、お気軽にお問い合わせください。

地域政策課 地方創生推進係 ☎ (48) 5533

受賞おめでとうございます！

角田伊一さん (川井) が県教育・文化関係文化財保護功労者表彰を受賞

角田伊一さんは、多年にわたり町指定文化財の調査・選定、文化財保護のための定期的巡回、広報等での執筆記事や講演による文化財保護や活用への啓蒙など、町の文化財保護活動の中心的役割を担い、また、昭和 43 年刊行の『三島町史』と平成 30 年に刊行された『三島町史』近世編において、委員及び執筆者として史料の選定・解説・解説を行い、後世に遺すべき古文書等の文化財保護や活用に努められた功績が認めれ、令和 3 年度福島県教育・文化関係「文化財保護功労者」表彰を受賞されました。

表彰式は、11 月 26 日に会津若松合同庁舎で行われ、その後、矢澤町長へ報告にお見えになりました。



▲ 左から矢澤町長、角田さん、山口教育長

矢澤昇さん (高清水) が統計功績者総務大臣表彰を受賞

矢澤昇さんは、昭和 48 年から統計調査員として各種統計調査に尽力され、昨年で 10 回目の国勢調査を実施した事により、令和 3 年度統計功績者として総務大臣表彰 (令和 2 年度国勢調査 (調査員)) を受賞され、12 月 3 日に矢澤町長より表彰が伝達されました。



▲ 左から矢澤町長、矢澤さん

町民の皆さまのご協力により、統計結果が町政に反映されます。統計調査があった際は、ご協力をお願いいたします！



2022 年 新年挨拶

福島県立宮下病院 院長 横山秀二

新年あけましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年中は、地域の皆様より多くの御支援を賜り、職員一同心より御礼申し上げます。

昨年は、過去にない規模で実施された、新型コロナウイルスワクチン接種を本院でも行いました。現在は、感染者も全国的に減少の傾向にはありますが、これまで地域の皆様には、来院時の体温測定や面会制限など昨年度に引き続き多大な御負担をおかけしました。しかしながら、皆様より多くの御協力をいただき、その結果として診療体制を維持することができたことに重ねて感謝申し上げます。

本年も、当院が奥会津地域における拠点病院として、引き続き皆様に安心して来院していただける医療を提供していきたいと思っております。

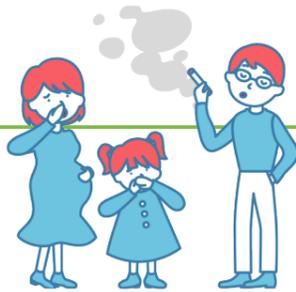
STOP! 『受動喫煙』

誰かのたばこの煙を吸うだけで

喫煙者と同様のリスクがあります。

喫煙者が吸い込む煙と同じくらい

周囲の人が吸い込む煙は有害です。



たばこの煙には三大有害物質であるニコチン、タール、一酸化炭素の他にも70種類以上の発がん性物質が含まれます。普段たばこを吸わない人は、たばこの煙に対する感受性が高く、他人の煙を吸うと、少しの量でも大きな健康被害を受けるとい報告があります。受動喫煙による日本人の肺がんリスクは約1.3倍になることが発表されています。



毎月22日は「禁煙の日」

「たばこの臭いがする」と感じたら、

もう被害にあっています。

喫煙室を設け分煙していても、体にたばこの煙がまとわりついて移動し、有害物質が拡散されます。服や髪の毛、カーテン、家具、壁などからたばこ臭を感じたときには、受動喫煙の被害にあっています。たばこの煙がない環境でも、たばこの臭いがわずかでも残っていると、たばこを吸わない人にとっては、受動喫煙と同様にたばこ由来の有害物質にさらされていることになります。

図書のご案内

町民センターゆめぼけっと

☆ お知らせ ☆

ゆめぼけっとでは、購入して欲しい本のリクエストを受け付けています。ゆめぼけっとにリクエストカードが設置してありますので、記入後ブックポストにカードを入れてください。(希望通りに本が入荷しない場合もあります。)

- 利用時間
 - ①～⑤ 午前9時～午後9時
 - ⑥～⑧ 午前9時～午後5時
- お休み 年末年始

公民館 ☎(48) 5599

●今月のおすすめ



ゆるジャンプ・ダイエット 著：伊賀瀬道也

著者が1年で10kg減量したこの超シンプル・メソッドを、実際に20~60代の男女6人が試したところ、全員脂肪を落として、1か月で3kg減を実現した人も! 腹筋運動をしなくても、ぽっこりお腹が解消!

●図書の紹介



40代からの人体の取扱説明書

Newton 別冊



月曜日の抹茶カフェ

著：青山美智子

地域おこし協力隊 活動誌

作るそして伝える

植村 明恵

師走の寒さが身にしみる季節になりました。まるで水墨画のようなモノクロの世界の美しさに心がときめきます。こちらへ移り住んでから3回目の冬。季節の移ろいを楽しんでいます。

普段は工場の中で製品を作ることに没頭する日々ですが、先日は東京で開催された展示会に参加しました。

今回はバイヤー向けの展示会であり、お店を経営している方やギフトカタログを作成している会社の方など多くのお客さまにご来場いただきました。

上手く説明出来るだろうかと緊張しながらも、会津桐の特徴や製品の魅力などを作り手の立場からお話しました。

私が製作した小物も持っていて、お客さまの反応を見ることができてよかったです。



会津桐の認知度がまだまだ低いということに改めて感じたため、実際に目で見て、手で触って、桐がどんな素材なのかを体感していただきました。興味を持ってくださる方が多く、今後ものづくりや桐材の可能性を広げていけたら嬉しいですね。

今回の展示会のようにお客さまと直接お話をし、意見をいただく機会はとても貴重であり、大変勉強になりました。作った製品を通して桐の魅力をより多くの方に伝えたいと思いましたが、ものづくりを協力隊としての期間も残り数ヶ月となりましたが、残りの期間で沢山のことを吸収して今後に生かしていきたいです。

三島町生活工芸館外壁・三島町工人の館改修 工事完了のお知らせ

このたび、三島町生活工芸館の外壁改修(張替・塗装)並びに三島町工人の館の改修工事が完成いたしました。生活工芸館の外壁工事は建築後35年の年月が経過し劣化が著しかったため、外壁材の一部張替えと全面塗装を行いました。工人の館は、未利用となっていた旧木工室のスペースを新たに工房と材料庫として有効活用いたします。工房利用については無料で、事前に三島町生活工芸館へご連絡ください。皆様のご利用をお待ちしております。



工人の館に新設された工房 ▶

「第21回 全国編み組工芸品展」の開催中止について

3月に開催予定の「第21回 全国編み組工芸品展」につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止といたします。

開催を楽しみにして下さった皆様には、大変残念なお知らせとなり申し訳ございませんが、ご理解くださいますようお願い申し上げます。

三島町 / 奥会津三島編組品振興協議会

冬のものづくり教室 開催

【開催日程】

令和4年1月8日から2月20日までの毎週 ①⑥ (計14日間) 午前9時~午後4時まで

【参加料】

町民(特別町民含む) 1日500円
その他 1日2,500円 / 半日1,500円
※材料・型・底板をご持参でない方は別途料金がかかります。

◆準備品等詳しくは令和3年12月17日発行のお知らせ版、または三島町生活工芸館HPをご覧ください。三島町生活工芸館までお問い合わせください。

◆三島町工人の館のご利用について... 冬のものづくり教室開催日は、一般のご利用(工房の無料開放)はお休みとし、教室参加者以外は見学のみ入館といたします。ご不便をおかけいたしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

③三島町生活工芸館 ☎(48) 5502
HP: <https://www.okuaizu-amikumi.jp/>

工芸館だより ⑧

ものづくりの伝承

明治四十一年（一九〇八）十月十三日、明治天皇により、「戊申詔書」と後に称されることとなる詔書が渙発（発布のこと）されました。全文は割愛しますが、

詔書の「上下心ヲ一ニシ忠實業ニシ勤儉産ヲ治メ惟レ信惟レ義醇厚俗ヲ成シ華ヲ去リ實ニ就キ荒念相滅メ自彊息マサルヘシ」という、国民が心を一つにし、俟約・勤勉を心がけそれぞれの業に努力を怠らず励んでもらいたいといった大意の部分が、日露戦争後の荒廃した地方の立て直しを目的とした官製の「地方改良運動」と結びつきます。現三島町域においても様々な取り組みがあったことが、いくつかの資料からわかります。

まず渙発後の翌十一月二十六日付には大沼郡書記から西川村外二ヶ村組合村（後の宮下村）の村長に宛てて、「聖詔（戊申詔書のこと）ヲ煥發（原文ママ）セラシ信義忠実ノ風ヲ興シ勤儉力行の実ヲ挙クベキコトヲ勤励シ給フ」と

し、具体的には産業界の道徳の向上を目的に、不正競争や濫売・粗造が行われぬよう、業者へ注意するようにとの通知が遺されています。

渙発から三ヶ月後の翌四十二年一月には川西村（後の西方村）大石田で「戊申御詔勅（戊申詔書のこと）ノ御聖旨ヲ体シ下名ハ左ノ條項ヲ規約シ本部落ノ福利開発ヲ期スルモノナリ」と冒頭で示した上で、規約が定められました。内容も第一条で集會等の時間厳守を掲げ、第二条で酒肴の宴會費用を節約し茶話会にすること、祭典は日帰りする事、芝居や角力など興行も当分の間禁止とされ、第三条では風紀矯正を促し、第四条では小学校退校後、二十歳までの教育補習の青年夜学会の開設を決め、第五条では草鞋貯金会を設立、

会員は冬仕事として三十足の草鞋を作るか、相当額の物品を納めて売却し貯金、その利殖も含め、将来的な産業組合設立の基礎とする

などとしており、詔書の主旨を意識したものです。

同年八月二十五日付の、大沼郡書記から各町村長宛の通知では、町村民に対し青年会主催の芝居や櫓踊または木戸銭興行を止めたり、注意したりするよう促しており、その理由として金銭的にも時間的にも不経済であること、また「御詔書」の勤儉貯蓄の趣旨に背き、納税滞納を生じる原因にもなると書かれています。

そして、四十三年一月には大沼郡役所から「戊申詔書」渙発後、普及に努めた結果に関する照会があり、組合村長がその影響について回答した文書が遺されています。その回答によれば、組合村では主旨の徹底に勤め、詔書奉読式を行い、組合村で勤儉貯金会を組織し毎月貯金を行い、青年団も力行貯金会を設立し休日に労働し得た金を貯蓄するなど、各村各地区でいくつもの貯金組合が設立したこと、そして貯蓄（貯金）思想

が普及していることは参加人員とその貯蓄額で証明されるといえます。

文書上ではなく実際にどれだけの実行性があったのか、いつまで継続されたのかは不明です。しかし詔書渙発後に貯蓄が奨励され、また祭礼などを控えるような通知が郡から村にあったことは事実であり、地区においても詔書を意識した規約が定められ、貯金組合が設立されるなど、少なくない影響があったことがうかがえます。

（三島町史編さん室）

※本文、引用文には（ ）内に説明を入れ、難読字にはルビを振りました。
参考文献 窪田祥宏「戊申詔書の発布と奉体」

ご家庭に古い文書や写真などがございましたら、交流センター山びこへご連絡ください。
☎(52) 2165

環境研だより 第42回

福島拠点の情報発信を支える「地域協働推進室」



しぶしぶくん

三島町のみなさま、あけましておめでとうございます。昨年は森林や交通に係るアンケート調査をはじめ、みなさまに多くのご協力をいただきまして誠にありがとうございました。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、福島拠点では2021年4月から新たに「地域協働推進室」が立ち上がり、福島拠点で行っている研究や取り組みについて情報発信を行っています。

今回はその地域協働推進室のメンバーの日下部直美さんにお話を伺いました。

■日下部さんは普段どのようなお仕事をされているのでしょうか？

日下部：おもにホームページや広報誌の制作、広報に関わるデザインの制作をしています。最近では「FRECC+（フレックプラス）」というWebマガジンを制作し、さらにその内容を冊子にして発刊しました。三島町役場にもお送りしています。

■地域協働とはどういったものなのでしょうか？

日下部：自治体を始めとして、地域の団体やNPO、民間企業、私たち研究所などが、それぞれの役割を果たしながらともに地域づくりに取り組むことと考えています。私の所属している地域協働推進室は研究所と地域を橋渡しする役割で、広報や地域の人との対話、研究を一体的に進めるような仕事をしています。

■日下部さんが制作に携わった「FRECC+」はどういった内容でしょうか？

日下部：「福島から地域と環境の未来を考える」をコンセプトに、福島拠点で行っている研究や取り組みを紹介しています。読んだ人が環境問題や研究を身近に感じ、考えるきっかけになってくれたらと思います。なかでも、研究者へのインタビュー記事は、「FRECC+」から始めた新たな企画です。研究者の人となりや、福島で研究を進めるバックグラウンドなど、研究者を知ることができる内容になっています。環境研を多くの人に知ってもらい、顔の見える研究所になれば嬉しいです。



▲地域協働推進室の日下部さん。Webデザインのスキルは通信学校で学んだとか。

■今回はVo1.1とのことですが見どころはどこでしょうか？

日下部：今回はゼロカーボンビジョンがテーマです。福島県は2050年までに脱炭素社会の実現を目指すと言っており、その実現のためにどのような研究、取り組みが行われているのか、というのが主な内容です。「ゼロカーボン」、「脱炭素社会」とよく聞くようになったけど、実際はどういったものかわからない、という基礎知識のない人にも、わかりやすく読んでもらえるのではないかと思います。

■今後 FRECC+ はどういった展開を見せていくのでしょうか？

日下部：Vol.1 ではゼロカーボンビジョンや脱炭素社会に向けた自治体の取り組みなど、社会的なテーマでしたが、他にも放射線の影響のお話しなど、福島県の方々にとって身近な研究、取り組みをご紹介しますので、そちらもぜひご覧ください。

URL：Webマガジン「FRECC+」(https://www.nies.go.jp/fukushima/magazine/)

< 筆者紹介 >

常盤 達彦（ときわ たつひこ）

改めまして本年もよろしくお願いいたします。近々、三島町内にて出前講座の開催も検討しておりますので詳細が決まりましたらお知らせいたします。その際はぜひご参加のほどよろしくお願いいたします。



国立環境研究所福島地域協働研究拠点
地域環境創生研究室 ☎0247 (61) 6572

町からお知らせ

ご寄附ありがとうございました(11月分)

ふるさと納税

- 五十嵐 誠 幸 様 (埼玉県)
- 丹野 光明 様 (千葉県)
- 馬場 昭 様 (東京都)
- 五十嵐 竹 男 様 (会津若松市)
- 薄 裕 幸 様 (埼玉県)
- 伊藤 晃 様 (宮城県)
- 菅家 功 様 (郡山市)
- 酒井 優 様 (埼玉県)

他 15 件

計 604,000 円

一般寄付

(株) あいづダストセンター

代表取締役 一重 卓 男 様

テント一基 (創業 50 周年を迎えた御礼として)

1 月分納税のご案内

【納期限 1 月 31 日(月)】

- ▼ 町県民税 (第 4 期)
 - ▼ 後期高齢者保険料(普通徴収)(第 6 期)
- 忘れずに納付ください。

☎町民課 町民係 ☎ (48) 5 5 5 5

はじめてまして赤ちゃん

山口 純 生 くん (宮下)
(保護者 一也/紗織)

お悔み申し上げます

久保田 英 夫 様 (59 才・間方)
矢 澤 幸 子 様 (84 才・高清水)

町の人口と世帯 (12 月 1 日現在)

人口	1,475	増減数	-10	出生	0
男	737		-5	死亡	3
女	738		-5	転入	0
世帯	719		-5	転出	7

※住民基本台帳による数値です。増減数は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月 1 カ月間に届出のあった人数です。

社会福祉協議会より

川井友遊サロン	サロンないり
1 月 11 日(火) 午前 10 時から 川井集会所	1 月 25 日(火) 午前 10 時から 名入集会所
間方いきいきクラブ	ほがらかサロン
1 月 12 日(水) 午前 10 時から 間方集会所	1 月 25 日(火) 午前 10 時から 森の校舎カタクリ
桧原はつらつクラブ	滝谷和楽塾
1 月 14 日(金) 午前 10 時から 桧原集会所	1 月 26 日(水) 午前 10 時から 滝谷集会所
大石田友遊サロン	サロンなごみ
1 月 17 日(月) 午前 10 時から 大石田集会所	1 月 27 日(木) 午前 10 時から 西方ふるさとセンター
高清水・小山いきいきサロン	間方いきいきクラブ
1 月 18 日(火) 午前 10 時から 高清水集会所	2 月 4 日(金) 午前 10 時から 間方集会所
ひまわりサロン	浅岐あつたかサロン
1 月 21 日(金) 午前 10 時から 町民センター	2 月 4 日(金) 午前 10 時から 浅岐集会所

町社会福祉協議会へのご寄附
(ご遺志によるもの)

久保田 節 子 様 (間 方)

☎社会福祉協議会 ☎ (52) 3 3 4 4

会津坂下警察署からのお知らせ

なりすまし詐欺被害防止

還付金詐欺とオレオレ詐欺が増加!

「還付金がある」「払戻しがある」
「現金が入ったバックを盗まれた(無くした)」
「風邪を引いて、のどの調子が悪い」などに要注意!

役場職員などを名乗る者から、税金・医療費・保険料などの還付金があるなどと電話があり、ATMに誘い出され、自らATMを操作し、口座間で送金し、お金をだまし取られる還付金詐欺が増加しています。



ATMで還付金の手続きはできません!

息子や孫などを名乗る者から、

- 現金が入ったバッグを盗まれた(無くした)。
- 風邪を引いて、のどの調子が悪い。
- 携帯電話を無くして違う番号から電話をかけている。

などの電話があり、直接現金を手渡すオレオレ詐欺も増加しています。このような電話があった時には、家族や警察に相談するでござる!

カクニンジャー福くん



大変だ!
すぐに、振り込むわ!



もしもし、俺だけ今日、会社の金が入ったバッグを盗まれてしまったって困っている。金を貸してほしい。

自宅電話を常時留守電にして
なりすまし詐欺を防止しましょう!



☎会津坂下警察署警務係 ☎ 0242 (83) 3451

消防署からのお知らせ

文化財防火デー

・文化財防火デーとは?

昭和 24 年 (1949 年) 1 月 26 日に、現存する世界最古の木造建造物である法隆寺の金堂が炎上、壁画が焼損したことに基づいており、火災や震災などから文化財を守ろうと全国で防火運動が展開されます。

・三島町でも文化財防火訓練が実施されます!

三島町には、町指定の有形文化財が数多くあり、令和 4 年 1 月 23 日(土)に桧原地区において文化財防火訓練が実施される予定です。文化財の多くは木や紙、布など燃えやすい素材で作られているため、所有者や管理者の皆さんはもちろんのこと、周辺の皆さんも火の取り扱いには十分注意し、住民共有の貴重な遺産を後世に引き継いで行きましょう。

1 月は冷え込みもピークを迎える頃であり、暖房器具の使用機会も多くなりますので、十分注意してください。

年末年始特別警戒実施中

令和 3 年 12 月 15 日(水)

~令和 4 年 1 月 15 日(土)



火事・救急・救助は 119 番まで

☎会津坂下消防署 三島出張所

☎ (52) 3032 / FAX (52) 3033

会津ポリテクターセンターよりお知らせ

訓練生募集!!

①募集期間 2022 年 1 月 13 日(土)~2 月 9 日(木)

②募集訓練科名 機械 CAD・NC コース
電気設備技術コース

③訓練期間 2022 年 3 月 2 日から
2022 年 8 月 31 日まで (6 カ月間)

④対象者 公共職業安定所に求職登録されている方で
職業訓練の受講が望ましいと判断された方

⑤受講料 無 料

応募方法など、詳しくは下記までお問い合わせください。

☎ポリテクセンター会津訓練科 ☎ 0242 (26) 0520

素敵な出会いをサポートします



福島県内で

- ・新たな出会いを求めている方
- ・婚活に取り組んでいる方 など

一度、登録してみませんか？

「はぴ福なび」 会員募集中



「はぴ福なび」は、福島県に住む20歳以上の独身の方を対象としたマッチングシステムです。福島県が導入したシステムなので、高額請求などの心配がなく安心して利用できます。

2年間で1万円の登録料が必要となりますが、**三島町が半額の5,000円を補助**しますので、この機会に是非ご登録ください。



WEBからのお申込みとなります。

登録方法やマッチング（紹介）など、詳しくはHPをご覧ください。町の補助制度や必要書類の準備など、**個人情報保護法を遵守してお手伝い**しますので、教育委員会へお気軽にご相談ください。

【お問合せ先】

三島町教育委員会 ☎ (48) 5599

町長日記 ～新しい年・寅を迎えて～

No. 75

町民の皆様、明けましておめでとうございます。皆様にとつて良い年となりますよう願っております。

さて、新たな年を迎えてもなお、日常生活において新型コロナウイルス感染症を抑え込む事ができず、非常に憂鬱な日々を過ごさざるを得ないのが現実であります。終息の方向に向かうのかと思つて

いたところ新たな変異株が発生し非日常の世界が繰り返されております。令和4年もコロナ感染症との戦いが継続されるのではないかと考えると、寅年もコロナという霞（かすみ）が世界中を覆い、輪郭のはっきりしない2022年になるのではないかと心配されるどころであります。

私達はパンデミックを経験し、従来見えなかった事が見えたり、経験したことのない風景を見る事ができ、ある面で我々人類は貴重な体験をしているのではないかと考えます。しかし、この新型コロナウイルスは我々人類に対し警告をしているのではないかと感じております。豊かさの質の変革、人類の思考傾向の変革、生態系バラ

ンスの変革等々、特に先進諸国に対して求めているのではないかと考えます。

次から次へと変異する新型コロナウイルスの出現は、私達人類に大きな変革を求め、歴史の大きな転換点に立たされているのではないかと思います。そしてこれが新型コロナウイルスからの挑戦状ではないかと思つております。

コロナ後の社会において服薬治療も大事ですが、我々の生き方そのものを考える事も必要であります。成長という「価値」からの脱却をどの様に考えて行くのかが問われています。過疎山村の地域づくりを先導した当町の町づくりには大きなヒントがあるのでないかと考えます。50年前に展開した、「自然と都市住民と共生した生き方」が、コロナ後の社会ステージの「センター」に座るべき時が来たのだと確信しています。地域や都市・自然や再生・健康の風は奥会津三島に吹いています。「虎穴に入らずんば虎子をえず」の年であります。

三島町長 矢澤 源成